

皆で団結できた 1年大縄跳び大会 15Hが優勝

明倫新聞

発行：「学校を元気に!」の新聞部
石川県立野々市
明倫高等学校
野々市市下林3 - 309

強い者が勝つのではない。勝った者が強いのだ
フランツ・ベッケンバウアー

野々市明倫高校の1年生は6月6日に本校第1体育館で集会とクラス対抗大縄跳び大会を開催し、15Hが優勝した。



優勝した15H第1体育館



賞状を受け取る15H委員長=同所

遠足が雨天中止となり、クラス対抗大縄跳び大会は、第1体育館で行われた。各ホームが男女別に競技を行い、その合計回数で順位を競った。15Hが合計45回で2位の11Hに6回差をつけて勝利した。トップに輝いた15

息を合わせて跳ぶ生徒達=同所

地域振興を学ぶ 3年遠足 白川郷

日委員長の越井智之輔君は「皆で団結できた。今後の行事でも協力してみんなで

「頑張りたい」と笑顔で語った。
大縄跳び大会前の集会では、中田修一

先生より進路についての話があり、将来について深く考える機会となった。

野々市明倫高校の3年生は6月6日に遠足で岐阜県を訪れた。学校からバスで出発し、午前に白川郷、昼からは高山市で自主研修が行われた。

この遠足は「総合的な学習の時間」の研究の一環として、歴史的建造物を見学することにより、これまで行ってきた「おもてなしプロジェクト」と関連付け世界的観光地の地域振興の在り方とおもてなしの具体例について考察を深めることを目的に行われた。



歴史的建造物をバックに記念撮影||白川郷

木村良江さん(32H)は「美しい景観を見ることが出来てよかったです。普段できない体験ができて嬉しかったです」と笑顔を見せた。また、元優香さん(33H)は「飛騨牛が特別おいしく、また友人と訪れたい」と語った。